総 務 委 員 会 資 料
平成 28 年 8 月 3 日提出

# 入札制度について


平成 28 年度　工事契約落札率別内訳表　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　P1

平成 28 年度　条件付き一般競争入札実施状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　P2

平成 28 年度　変動型最低制限価格方式による入札実施状況　・・・・・・・・・・・・　P3



総 務 部　　契 約 課

# 平成28年度　工事契約落札率別内訳表（平成28年6月30日現在）

（設計金額130万円以上）

総務委員会資料
平成28年8月3日提出

| 落札率（%） | 件数 | 契約金額総額（円） |
|---|---|---|
| ７０未満 | 0 | 0 |
| ７０以上８０未満 | 0 | 0 |
| ８０以上９０未満 | 16 | 518,920,560 |
| ９０以上９３未満 | 0 | 0 |
| ９３以上９５未満 | 3 | 19,866,600 |
| ９５以上９７未満 | 3 | 860,274,000 |
| ９７以上９９未満 | 0 | 0 |
| ９９以上９９．３未満 | 0 | 0 |
| ９９．３以上９９．６未満 | 0 | 0 |
| ９９．６以上 | 2 | 534,534,120 |
| 合　　計 | 24 | 1,933,595,280 |
| 平均落札率 | 90.32% | |

※随意契約を除く。
※災害復旧工事を除く。
※小数点第三位以下切捨て。

# 平成28年度　条件付き一般競争入札実施状況（平成28年6月30日現在）

総務委員会資料
平成28年8月3日提出

| 番号 | 工事名 | 工種<br>等級等 | 予定価格<br>（税抜き） | 最低制限価格<br>（税抜き） | 落札額<br>（税抜き） | 落札率<br>% | 申請者数 | 応札者数 | 最低制限価格<br>応札者数 | 入札日 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 出雲東13号線道路改良工事 | 土木Ⅳ<br>（奇数） | 5,802,000 | 5,025,000 | 5,025,000 | 86.60% | 21 | 20<br>（失格1） | 20 | 28.4.26 |
| 2 | 長尾京ケ迫線道路修繕工事 | 土木Ⅳ<br>（偶数） | 2,431,000 | 2,104,000 | 2,104,000 | 86.54% | 24 | 24 | 24 | 28.4.26 |
| 3 | （仮称）飯塚市立穂波東小中学校建設（4工区）工事 | 建築JV | 817,230,000 | 728,151,000 | 780,000,000 | 95.44% | 2 | 2 | 0 | 28.5.17 |
| 4 | 旧平恒小学校大規模改造（その1）工事 | 建築ＳⅠ | 268,033,000 | 238,924,000 | 268,033,000 | 100.00% | 3 | 2<br>（落除き1） | 0 | 28.5.17 |
| 5 | 旧平恒小学校大規模改造（その2）工事 | 建築ＳⅠ | 226,906,000 | 202,286,000 | 226,906,000 | 100.00% | 3 | 1<br>（落除き2） | 0 | 28.5.17 |
| 6 | 飯塚市立飯塚第一中学校自転車駐輪場整備工事 | 建築Ⅱ | 15,094,000 | 13,507,000 | 13,507,000 | 89.48% | 8 | 8 | 8 | 28.5.17 |
| 7 | 立岩小学校運動場等整備（その1）工事 | 土木Ⅰ | 83,317,000 | 73,335,000 | 73,335,000 | 88.01% | 18 | 17<br>（落除き1） | 16 | 28.6.14 |
| 8 | 長楽寺団地公営住宅造成（2工区）工事 | 土木Ⅰ | 74,868,000 | 64,700,000 | 64,700,000 | 86.41% | 18 | 16<br>（落除き2） | 16 | 28.6.14 |
| 9 | 長楽寺団地公営住宅造成（1工区）工事 | 土木Ⅰ<br>土木Ⅱ | 64,435,000 | 54,887,000 | 54,898,000 | 85.19% | 35 | 33<br>（落除き2） | 変動型 | 28.6.14 |
| 10 | 若葉台団地5号線道路改良工事 | 土木Ⅳ<br>（奇数） | 2,140,000 | 1,852,000 | 1,852,000 | 86.54% | 18 | 18 | 18 | 28.6.21 |
| 平　　均 | | | | | | 90.42% | 15.00 | 14.10 | 11.33 | |

※　災害復旧工事を除く。
※　小数点第三位以下切捨て。
※　最低制限価格応札者数の平均は、変動型最低制限価格対象工事を除いたもの。
※　変動型最低制限価格を下回ったことによる失格については、応札者数の失格には加えない。

# 平成28年度　変動型最低制限価格方式による入札実施状況　（平成28年6月30日現在）

総務委員会資料
平成28年8月3日提出

| 番号 | 工事名 | 工種<br>等級等 | 予定価格<br>（税抜き） | 変動型<br>最低制限価格<br>（税抜き） | 落札額<br>（税抜き） | 落札率<br>% | 申請者数 | 応札者数 | 最低制限価格を<br>下回った<br>失格者数 | 入札日 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 長楽寺団地公営住宅造成（1工区）工事 | 土木Ⅰ<br>土木Ⅱ | 64,435,000 | 54,887,000 | 54,898,000 | 85.19% | 35 | 33<br>（落除き2） | 9 | 28.6.14 |
| 平　　均 | | | | | | 85.19% | 35.00 | 33.00 | 9.00 | |

※　災害復旧工事を除く。
※　小数点第三位以下切捨て。
※　落札率は、落札額を予定価格で除したもの。

総 務 委 員 会 資 料
平成 28 年 8 月 3 日開催

# 立地適正化計画素案に対する 12 地区住民懇談会 開催概要

1 開催趣旨　飯塚市立地適正化計画素案（骨子案）について計画の基本的な方針や考え方等を説明の上、意見交換を行うもの。第 2 次飯塚市総合計画（素案）に関する地区懇談会と同時開催により実施。

2 開催時期　平成 28 年 6 月 29 日（水）～平成 28 年 7 月 22 日（金）（12 日間, 19 時開始）

3 開催場所　12 地区公民館

4 飯塚市出席者　企画調整部長、地域連携都市政策室長、総合政策課長、商工観光課長

5 参加者　177 人（延べ人数）

（参加者内訳）　（単位：人）

| | 合　計 | 10 代 | 20 代 | 30 代 | 40 代 | 50 代 | 60 代 | 70 代以上 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 全体 | 177 | 1 | 5 | 8 | 39 | 50 | 35 | 39 |
| 男 | 132 | 0 | 5 | 7 | 28 | 34 | 25 | 33 |
| 女 | 45 | 1 | 0 | 1 | 11 | 16 | 10 | 6 |

6 主な意見等

| （●＝懇談会での意見、■＝アンケートによる意見） | |
|---|---|
| 計画全般 | ● この計画はコンパクトシティの考え方からきていると思うが、（これまで）中心市街地には多くのお金をかけて商業などのサービスや医療、福祉などが集中してきた。拠点というのは、病院をはじめ医療や介護施設、ガソリンスタンド、スーパーマーケット、コンビニ、マンション、アパート等がまとまっているエリアを指すと思う。この拠点をどこにいつまでに設定するのか。（鎮西地区）<br>⇒市）コンパクトシティの取り組みではあるが、１箇所に集約させるのでなく、複数の拠点を設定していこうとする考え方である。拠点の考え方については、医療や商業、福祉など全ての機能が整っているエリアというのは大変難しい。そこで、不足する機能は公共交通を使って隣のエリアに行って利用する、こういったまちのかたち考えている。区域設定については、8 月以降示していきたい。<br>● 地域の切捨てと言われかねないのではないか。（頴田地区）<br>⇒市）この計画は飯塚市全域の今の暮らしを守っていくという視点をもって作成している。<br>● 計画は旧飯塚市だけのもののように聞こえた。旧 4 町の状況も踏まえて策定するのか。（飯塚地区）<br>⇒市）計画は、飯塚市全体の旧 1 市 4 町を含めた計画である。<br>■ 立地適正化計画は、総合計画における個別計画の位置づけになると思うが、総合計画の中に立地計画に関連する記載がないが、独立した計画なのか。それとも総合計画より上位計画なのか。（筑穂地区、50 代、男性）<br>■ 概ね良い（鎮西地区、70 代、男性）<br>■ すばらしい計画だと思う。どう実現していくかが問われる。（幸袋地区、60 代、男性）<br>■ 農地が守られていないし、転用が多い。農地面積を計画の目標値にすべきではない。せめて農用地（の保全を計画の目標値にすべき）ではないのか。もっと勉強すべき。（立岩地区、50 代、男性） |

| | |
|---|---|
| 区域設定 | ■ 区域は狭くしないと集約型の都市とは言えないのではないか。店は守れないのではないか。（立岩地区、50 代、男性）<br>■ 福祉施設や子育て施設は自動車で行くもの。誘導するのであれば商業施設と医療施設に限定すべき。（立岩地区、50 代、男性）<br>■ 地域コミュニティの設定は良いと思うが、およそ高齢者の集まりになってしまうことがあるので様々な人々が集まるように創意工夫が必要。誰がやるのか、どんな人々を集めるのか、どんなことをやるのか、色々工夫が必要。（庄内、男性）<br>■ コミュニティ拠点は将来、大変重要だが、公民館は農地に建っているものもあるので、そこは区域に入れるべきではない。（立岩地区、50 代、男性）<br>■ 居住誘導区域（人口密度を維持していく区域）を設定し、他都市から本市へ転入を促して本市の人口減を緩やかなものにしていこうという計画のようだが、たしかに福岡市や北九州市への通勤の利便性は本市の強みと言えるが、反面弱みにもなり得る。本市に住んでも本市で消費するとは限らない。現在、中心部には沢山のマンションが出来たが、商店街は閑散としている。それは地元商店街にお金が落ちる仕組みが無いから。若者たちはやはり福岡市に買い物に出かけているようだ。（庄内地区、男性） |
| 交通 | ● 交通が大事と考えている。（鯰田地区）<br>● 公共交通機関は重要。旧頴田や旧筑穂は 1 時間に 1 本しかバスが通っておらず、また、バス停までの距離も遠い。これを含めて都市計画として考えてほしい。（飯塚東地区）<br>⇒市）確かに運行距離が長く、本数も少ないといった不安の声がある。バス停は人の多いところに設置している現状がある。立地適正化計画の中で見直せるところは見直していきたい。<br>● 交通弱者が非常に増えている。居住区域を作るには交通手段を充実させないといけない。（穂波地区）<br>● 買物や医療に結び付くような交通アクセスを考えてほしい。都市圏との連携と言っているが、都市圏とのアクセスが良いので逆に出て行っているのではないか。バスセンターも広域拠点になってしまっている。昔は地域の拠点であったはず。西鉄についてもそう少し協力、努力すべきと考える。（飯塚東地区）<br>● 交通の便がよいということを強みとし、人を呼び込むということだが、交通の便が良いということは一方では都市圏に流出し、まちが空洞化する可能性もある。（穂波地区）<br>■ 2 大都市圏へのアクセスなどを活かした、より良いまちづくりをして欲しい。（立岩地区、20 代、男性） |

| | |
|---|---|
| 地域活性化 | ● ふるさととしての飯塚を大事にしたい。愛着をもって若い人をつなぎとめないといけない。今後、ますます、人口は減少し、税収も減る。財政的に厳しくなる中、地区住民は地区を大事にしたいという気持ちを持っている。（飯塚東地区）<br>● 菰田の振興・発展にはまだまだ時間がかかりそうだが、ようやく市場の移転が検討され、難しい調整もあるようだが、来年3月には移転先が決まる。しかし、その後が大事。駅の裏側（東口）のバイパスからの取り付け道路なども必要だが、最も大事なのは、飯塚駅にエレベーターがないこと。車いすの人は新飯塚駅まで行って電車に乗っている。菰田が栄えないのはそれが理由。菰田の発展については、住民の意見をしっかりと聞きながら考えてほしい。中心拠点として位置づけられる菰田の浮揚策を考えた計画をお願いする。<br>● 菰田の振興策についてはいつごろになるのか。スケジュールを示してほしい。（菰田地区）<br>● 昭和通りは40年前から都市計画道路の決定があるため、セットバックや建物の規制により開発の妨げになっている。信号の待ち時間も国道並みに長い。時代の変化に対応した見直しを望む。（飯塚地区）<br>■ 庄内地区をどのように考えているか分からない。地域コミュニティ拠点として、問題解決になるのか。（庄内地区、50代、男性）<br>■ 第3中学校がなくなり、鯰田地区の運動場（地域住民がグラウンドゴルフ等を実施できる広場）がなくコミュニティがとりづらい。（鯰田地区、70代以上、男性）<br>■ 新飯塚駅前のマンション計画がバラバラに進んでいるので自治会加入率の低下や地域のつながりが弱くなることが不安。何か調整はできないものか。（立岩地区、50代、男性）<br>● 大学と地域のつながりを深めたい。もっと大胆に学生を活用するような提案を飯塚市から出してほしい。（立岩地区、男性）<br>■ 大学は飯塚市の大きな特色。もっと大事にすべきだし、活用すべき。（立岩地区、50代、男性） |
| その他 | ● 大型店舗のイオンに商業が集中しており商店街は人通りが少ない。鯰田は幸いにスーパーがある。もしスーパーがなくなると終わってしまう。そういった分かりやすい説明がほしい。（鯰田地区）<br>● 環境について、ソーラーパネルの話などもある中、山林や自然をしっかりと守らなければいけない。（飯塚東地区）<br>● 定住促進について、大変、重要なことであり、（縦割り行政ではなく）担当者を一本化し、スピード感をもってやってほしい。（菰田地区）<br>■ 暮らしに必要な公共施設は、少子高齢化と人口減少のなか、中央集中型が良いのか旧郡部への分散型がよいのか判断が難しいところ。（庄内地区、男性）<br>● 新宮町や粕屋町は人口が増えている。その理由は、１）自然が多い、2）特殊出生率が高い、つまり人口増加率が高いということ。飯塚市も人口増加の要因（潜在能力）はある。アクセスがいいことと自然がたくさんあること。これまでは、まちの真ん中に大きな公園をつくるといった考えが出てこなかったが、そういう取り組みも必要と思う。いろいろと建物を整備するのもいいが、実質的な豊かさが感じられない。自然を整備する、活用するようなまちづくりも（取り組みの）1つと思う。（幸袋地区） |

| | |
|---|---|
| その他 | ● 飯塚市は学園都市と言っているが、学生が折角転入してくるのに残ってくれない。それは働く場所がないから。娘も買い物は福岡に行く。飯塚のお店に魅力がないから。商店街も殺風景。人が集まらないと何もできない。若い人のためにいろいろやってほしい。（鯰田地区）<br>● 懇談会出席者は高齢者ばかり。自分たちも考えないといけないことだが、若い人がなぜ来ないのか、行政も考えてほしい。若い人が来ないことがまちが発展しない理由のひとつ。（菰田地区）<br>● 出席者が少ない。折角の懇談会なのでもっと分かりやすく、全体に行き渡るように周知してほしい。（菰田地区）（飯塚東地区）<br>■ 市民の生活を一番に考えて欲しい。（庄内地区、60 代、女性）<br>■ 計画が計画で終わらない様にお願いします。（筑穂地区、庄内地区、60 代、女性）<br>■ 具体的な事業を早めに示して欲しい。（菰田地区、40 代、男性） |

# 平成２８年度飯塚市職員採用試験を実施します。

| 試験区分 | | 採用予定数 | 受験資格 |
|---|---|---|---|
| 行政事務 | 上級<br>（大卒程度） | １５名程度 | 昭和６３年４月２日から平成９年４月１日までに生まれた人 |
| | 初級<br>（高卒程度） | ５名程度 | 平成４年４月２日から平成１１年４月１日までに生まれた人<br>（大学における在学期間が２年を超える人は受験できません。） |
| | 身体障がい者対象<br>（高卒程度） | ２名程度 | ① 昭和５６年４月２日から平成１１年４月１日までに生まれた人<br>② 身体障害者福祉法第１５条に規定する身体障害者手帳の交付を受けている人で、次に該当する人<br>・介護者なしで通勤及び一般行政職としての職務遂行が可能な人<br>・活字印刷文の出題及び口頭による面接試験に対応できる人 |
| | 民間企業等<br>職務経験者<br>（UIJターン） | ２名以内 | ① 昭和５６年４月２日から平成２年４月１日までに生まれた人で、平成２８年８月３１日時点で、民間企業等での職務経験が５年以上ある人<br>② 福岡県外在住者（福岡県外の市区町村の住民基本台帳に記載されている人）で、採用後飯塚市に定住できる人 |
| 学芸員<br>（大卒程度） | | １名以内 | 昭和５６年４月２日から平成７年４月１日までに生まれた人で、次のいずれにも該当する人<br>①学校教育法に基づく４年制大学又は大学院において、考古学、歴史学若しくは文化財学の埋蔵文化財に関する専門課程を卒業（修了）した人又は平成２９年３月末日までに卒業（修了）見込みの人<br>②博物館法に規定する学芸員の資格を有する人又は平成２９年３月末日までに同資格を取得する見込みの人 |
| 土木<br>（大卒程度） | | ３名以内 | 昭和６１年４月２日から平成９年４月１日までに生まれた人 |
| 土木<br>（民間企業等職務経験者） | | ２名以内 | 昭和５６年４月２日から平成２年４月１日までに生まれた人で、民間企業等において、土木設計又は現場施工管理に携わった職務経験が平成２８年８月３１日現在で５年以上あり、次のいずれかの資格を有する人<br>①土木施工管理技士<br>②測量士又は測量士補 |
| 電気<br>（大卒程度） | | １名以内 | 昭和６１年４月２日から平成７年４月１日までに生まれた人で、電気技術関連科目を履修し大学（短大を除く。）を卒業した人又は平成２９年３月末日までに卒業見込みの人 |
| 化学<br>（大卒程度） | | １名以内 | 昭和６１年４月２日から平成７年４月１日までに生まれた人で、化学技術関連科目を履修し大学（短大を除く。）を卒業した人又は平成２９年３月末日までに卒業見込みの人 |
| 保健師<br>（短大卒程度） | | ２名以内 | 昭和６１年４月２日から平成８年４月１日までに生まれた人で、保健師の免許を有する人又は平成２８年度実施の国家試験で免許を取得する見込みの人 |

（裏面に続く）

※第1次試験日：10月16日（日）
※試験会場：近畿大学産業理工学部（飯塚市柏の森11-6）
※試験案内等配付：8月1日（月）から人事課（本庁2階）で配付（8時30分～17時。土曜日、日曜日、祝日は除く。）
※市のホームページからもダウンロードできます。
※申込期間：8月1日（月）～9月12日（月）（8時30分～17時。土曜日、日曜日、祝日は除く。）
※郵送（特定記録郵便又は簡易書留郵便）の場合は、9月12日までの消印があり、書類が完備しているものに限り受け付けます。
※申込み・問い合わせ：人事課（電話0948-22-5500　内線1214・1215）
※外国籍（永住者・特別永住者）の人も受験できます。
※地方公務員法第16条（欠格条項）に該当する人は、受験できません。
※詳細につきましては、試験案内で必ず御確認ください。

総 務 委 員 会 資 料
平成 28 年 8 月 3 日開催

# 『 朝型勤務（ゆう活）』の試行について

昨年度、国の「夏のスタイル変革」を受けて、本市でも出勤時間を３０分早め、３０分早く退庁する『朝型勤務（ゆう活）』を８月３日から３１日の期間で試行しました。

本年度は実施期間を９月まで拡げ、全所属を対象に試行します。

また、出勤パターンを追加し、勤務時間を①「午前８時から午後４時３０分まで」の３０分繰り上げと②「午前７時３０分から午後４時まで」の１時間繰り上げの２パターンから選択することとし、希望する職員の申し出により、所属長が公務に支障をきたさないよう計画的に職員を割り振りながら取り組むものとします。

※昨年度と同様に１日の勤務時間である７時間４５分は変更しません。

『朝型勤務（ゆう活）』については、柔軟な働き方改革の契機になるものであり、まずは実践してみることが重要となります。業務多忙により困難な場合もあると思いますが、ご協力をお願いいたします。

**１．実施期間**　平成２８年８月４日（木）～９月３０日（金）

**２．目　　的**　職員の健康増進及びワーク・ライフ・バランスの推進を目的に、朝型勤務を試行します。

（１）日が長い夏は、朝型勤務とし、遅くまでの残業を避けて退庁時間を早めることにより、ワーク・ライフ・バランスを推進します。

（２）朝型勤務を実施した職員は原則定時に退庁することとし、業務の効率化を図り労働時間の縮減につなげます。

**３．対象所属**　月曜日から金曜日までの勤務時間が８時３０分から１７時までの全所属

**４．対象職員**　月曜日から金曜日までの勤務時間が８時３０分から１７時までの全職員（嘱託職員・臨時職員を除く）

**５．勤務時間**　①午前８時から午後４時３０分（３０分繰り上げ）

②午前７時３０分から午後４時（１時間繰り上げ）

※昼休み及び執務時間の午前８時３０分から午後５時は変更しません。

※朝型勤務をした職員は、原則定時退庁とします。

総 務 委 員 会 資 料

平成 28 年 8 月 3 日提出

第２次公共施設等のあり方に関する基本方針（公共施設等総合管理計画）説明会実施状況

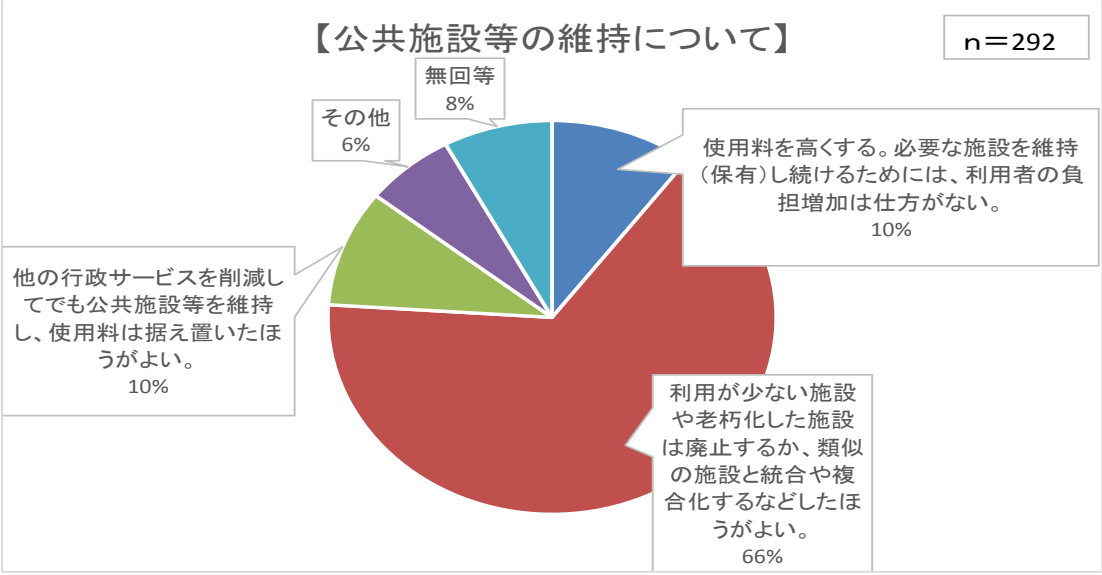
１．開催日時・参加状況

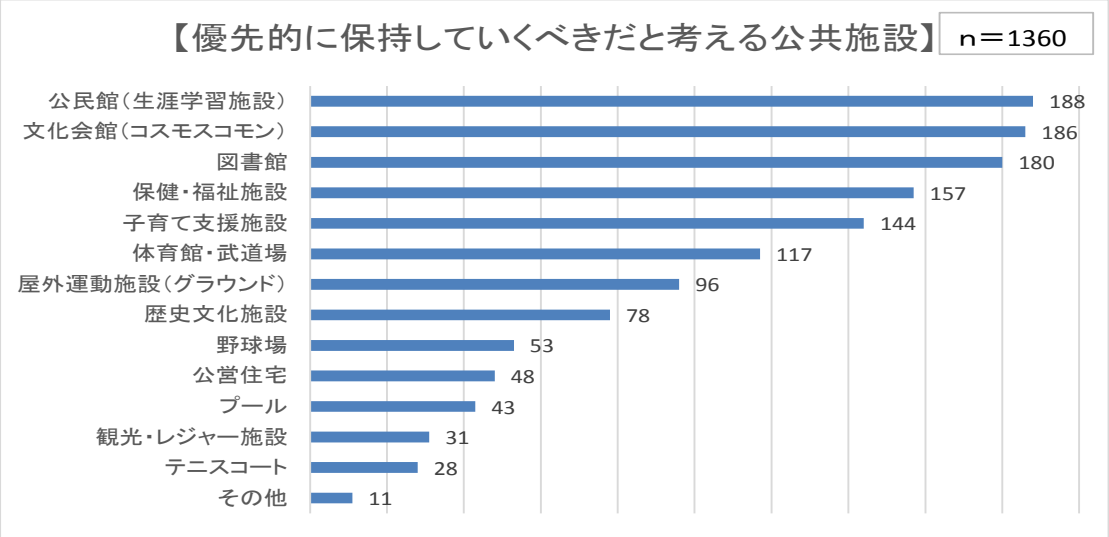
| 地区 | 開催日 | 時間 | 会場 | 参加人数(人) |
|---|---|---|---|---|
| 幸　袋 | 平成28年3月24日（木） | 14：00～ | 幸袋公民館 | 28 |
| 鯰　田 | 平成28年3月25日（金） | 19：00～ | 鯰田公民館 | 38 |
| 菰　田 | 平成28年3月28日（月） | 19：00～ | 菰田公民館 | 32 |
| 二　瀬 | 平成28年3月29日（火） | 14：30～ | 二瀬公民館 | 40 |
| 鎮　西 | 平成28年4月 6日（水） | 19：00～ | 鎮西公民館 | 45 |
| 穂　波 | 平成28年4月15日（金） | 19：00～ | 穂波公民館 | 15 |
| 飯　塚 | 平成28年4月14日（木） | 18：00～ | 飯塚公民館 | 15 |
| 飯塚東 | 平成28年4月18日（月） | 19：00～ | 飯塚東公民館 | 23 |
| 立　岩 | 平成28年4月27日（水） | 19：00～ | 立岩公民館 | 37 |
| 頴　田 | 平成28年5月10日（火） | 19：00～ | 頴田公民館 | 29 |
| 筑　穂 | 平成28年5月30日（月） | 19：00～ | 筑穂公民館 | 26 |
| 庄　内 | 平成28年6月27日（月） | 19：00～ | 庄内公民館 | 33 |
| 合計 | | | | 361 |

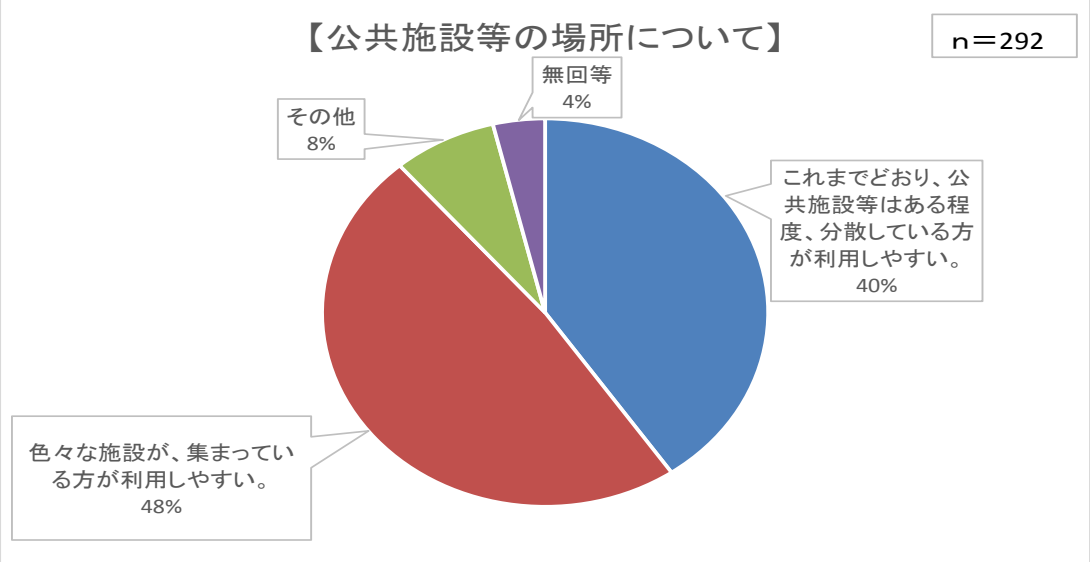
２．説明会での主な意見

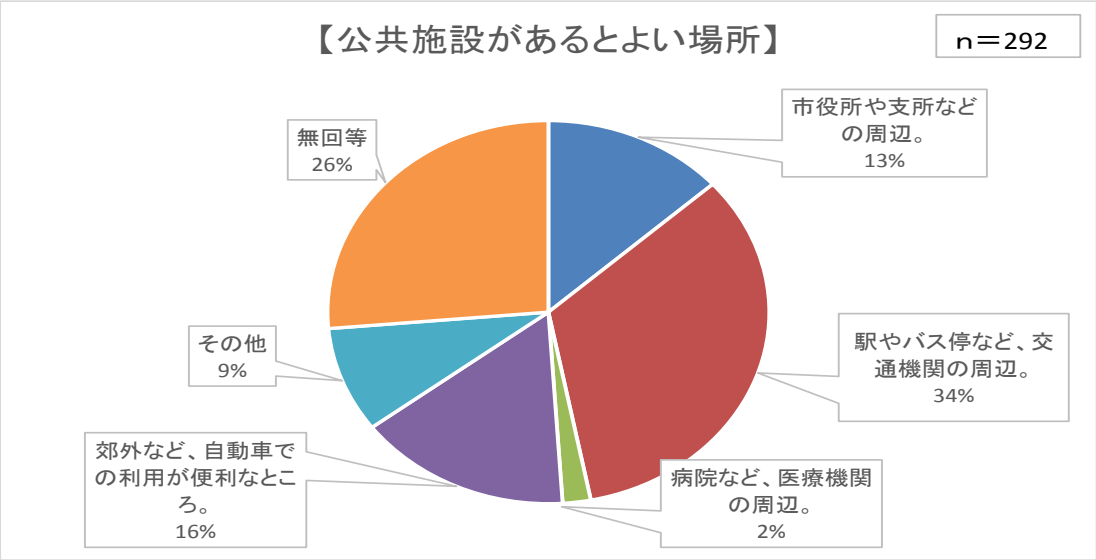
| | |
|---|---|
| 個別計画を作る場合には地元と協議をしたうえで決定してほしい。 | 幸袋、二瀬 |
| 市営住宅を高齢者向け住宅に利活用する検討をしてほしい。 | 幸袋 |
| 類似団体との比較では、飯塚市は人口1人あたりの公共施設延床面積が突出している。もっと計画以上に面積縮減に取組むべきではないか。 | 菰田 |
| ただ公共施設を廃止するだけではなく、もっと飯塚市を活性化する方策を考えるべきである。 | 鯰田 |
| 将来のため、絵に描いた餅にならないようしっかりやってほしい。 | 菰田 |
| 周辺地域については、公共施設はどんどん減っている。忘れ去られているような感じがする。 | 二瀬、鎮西 |
| 地区公民館について、地区の人口を加味した上で整備してほしい。 | 二瀬 |
| 歴史が違う類似都市と比較して、公共施設の面積が広いと判断するのおかしい。 | 鎮西 |
| 歴史的に市営住宅の面積が広いので、切り離したうえで、適正な公共施設の面積を考えるべきではないか。 | 鎮西 |
| 公共施設は避難所の役割があるが、身近にある公共施設が廃止になると今後どうすればよいか不安になる。 | 鎮西 |
| 小学校区域単位などで、機能を集約化したｺﾐｭﾆﾃｨ施設を整備する必要がある。 | 飯塚 |
| 大牟田市の公共施設の計画と比較すると甘すぎる。将来の孫子のことを考えるともっとすすめてほしい。 | 穂波 |
| 市営住宅を集約して、余った土地は売却すべき。 | 飯塚東 |
| 稼働率の低い施設は縮小していくべきである。利用者を増やすために動員に近いことをやっている公共施設がある。 | 飯塚東 |
| 頴田の新しい公民館すら知らない住民がいる。もっと公共施設の存在を知らせる必要がある。 | 頴田 |
| 中心部ばかり公共施設が整備されている感じがする。 | 筑穂 |
| 公共施設の廃止と公共交通は一体的に考えるべき。 | 筑穂 |
| 利用状況だけが廃止の判断材料になると旧町の施設はすべて廃止になる。 | 庄内 |
| 高齢者が多い地域は、利用が少なくても施設を残す必要がある。 | 庄内 |
| 公共施設が多いことは、わかっていたことで取組みが遅すぎる。 | 庄内 |

## ３．参加者アンケート結果






【自由意見】

《幸袋》

〇施設によってはクライアント方式のほうが良い。　〇公共施設等が他市に比べて少ない（美術館等）前向きに検討してもらいたい。　〇専門用語、横文字が多く理解しにくい。もう少し分かりやすい説明を最初にしてください。　〇図書館は維持すべきだが、統合はあっても良い。　〇車でしか行けない所だとコミュニティバスなど公共交通を運行して頂ければ街の中でなくても良い。（プールバスは全然乗っている方がいませんけど！！）

《鯰田》

〇お年寄りが利用できる所を作って欲しい。　〇このような方針を早くから希望していた。この基本方針に基づいて進めてください。気がつくのが少し遅かったと思っています。

《菰田》

〇菰田の施設を削減する時は決まる前に住民に連絡ください。　〇集約できれば。　〇施設を廃止した跡地の有効利用を。〇基本方針に基づきスピード感を持ち問題解決して欲しい。〇地方卸売市場に関し今後の計画は？　〇飯塚市民プールは中央の方が利用者があると思う。〇統廃合と言うのは一見効率的に見えるが、エモーショナルなデザインを用いて若干の統合も要すかもしれないが、更新すべき。エモーショナル、ユニバーサルデザイン建築で!!国の補助もあるかと思う。

《二瀬》

〇災害等で避難所を設けて欲しい。冠水しやすい地で公民館に行けない所が多い。　〇二瀬公民館建替えは災害時の避難所を設け駐車場も多く取ること。　〇公共施設も人が集まる型の公共施設を願う。施設の運営、皆が使える、行きやすい。　〇合併で施設が過剰になったことは否めない。今後思い切った身の丈に合った改革を。伊岐須会館の利用状況は如何？〇交通の利便性。施設の使い勝手の良さ。多目的にも対応できるものを望む。〇道の駅、美術館、資料館ない。特に道の駅を作って。〇子ども、幼児の施設を考えること。〇公共施設等へ行く交通機関が無い。　〇公共施設に行くのが不便である。交通方法を考えて欲しい。まちづくり推進は地域の環境向上にも力を入れて欲しい。

《鎮西》

〇他の地域の方々に、鎮西地区の良いところを聞いてPPP等の取り組みを進めて欲しい。〇決め事、ルールが厳しすぎる。もっとラフに利用できる様見直して欲しい。〇子育て、高齢者の健康作り等の複合施設が良い。地域に応じた小規模施設。市と町内会の話し合いの内容は住民まで全く伝わっていない。住民を無視している。〇住民の意見を十分取り込んでください。

《穂波》

〇皆さんが集まりやすい場所（に設置して欲しい）。

《飯塚東》
○合併後の合理化を急いで整理すること。○コミュニティセンターが欲しい。○定住人口を一定割合で確保するためにはこの地方の資源を活用して、雇用の場所を作る以外にない。その資源を何に求めるかは市長が本気で真剣に考えよ。「行政のトップが考えること」が嫌いなら潔く辞職すべきだ。○無料施設優先ばかりでなく、自助努力も必要。第3セクター等には良質の施設が必要。人口減、それには市民税、固有資産税等の不足。１市４町合併には市有資源が財政を圧迫することは当初から懸念があったことは明らかだ。

《立岩》
○施設の統合を進める。　○公共施設の設備にあたり、その地区だけの説明でなく、市全体で必要性を議論すべきでは。　○将来の人口減少をしっかりと受け止め、集約や縮小を進めてほしい。必要な施設は残すべき。（公民館）

《頴田》
○地域をブロック化し、地域の中心点を設け、買い物等応援する。　○財政面で厳しいのは説明でよく分かるが、福祉（老人福祉センター）施設や体育館、公民館等、介護予防や健康増進、外に出て人と会い、人と楽しく交流する目的の建物が、利用者や人口などの兼ね合いで廃止をされることになれば、頴田という規模の小さい地域においてはものすごく危惧されることだと思います。元気な人を閉じこもりにさせないためにも、なんとか必要な施設については前向きに検討していただきたい。　○市民が安心して利用できるようにお願いします。

《筑穂》
○地域に関する事を計画されたら市が決める前に、地域、地元の意見をよく聞いて話し合い、検討を重ねて決めてほしい。　○５年先、１０年先のシュミレーションをして公共物を作らないといけない。利活用する人が減少してミスマッチングが発生しないように。　○各年齢層に応じた総合的な公共施設が望ましい。公共施設の存続について、各施設の使用状況を知りたい。○どのようなことに利用できるのか、それをもっと見える化、知る化したら利用者（有料）も増えると思う。

《庄内》
○高齢者でも利用出来る施設、健康のためにプール、体育施設、等々への交通を何とかして欲しい。鯰田のなまずワゴン2015みたいな車を、高倉、山倉等の人々が利用できると良いですね。○説明が早すぎるので丁寧に説明してほしいと思った。　○施設の管理があまりよくない。○是非とも若い人たちを入れて、その意見を取り入れて欲しい。我々高齢者が色々意見を出しても無意味だと思います。　○庄内支所が手狭で会議等でも狭く感じます。予算の都合もあると思いますが、もう少し広くて明るい支所を造ってほしい。　○どこの公共施設も良く清掃が行き届いております。（特にトイレ）ありがとうございます。今後とも飯塚市で生涯を終えたいと思っております。飯塚市大好きです。　○体育館などスポーツレクリエーション施設では専門性の高い指導者が必要→人材を発掘すべし。またテニス等は屋内施設でも活動可にしないと底辺は広がらないと思う。屋内プールを見よ！ ○旧飯塚市に集中しないこと。